

・「宇治田原町地域公共交通活性化協議会」で継続的に検証・見直しに取り組みます。  
 ・次の数値目標を定め、計画の推進を図ります。

視点	数値指標	単位	2019	2020	2021	2022 (見込)	2023 (見込)	2027 目標
総合的指標	①町が運行もしくは運行支援する公共交通機関の利用数(年間)	千人	512	410	432	-	-	506
	②広域幹線(路線バス)の利用者数	千人	485	392	417	-	-	480
	③町内支線の利用者数	千人	27	19	15	-	-	26
運行の効率性	④町内支線の利用者数(便あたり)	人/便	2.0	1.4	1.2	-	-	3.3
運行収支	⑤町内支線の収支率	%	-	-	0.1	4.8	7.9	9.0
	⑥町内支線の運行経費	百万円	20.9	20.1	20.4	19.3	19.1	21.0
利便性	⑦町内支線の運賃収入	万円	2	93	151	-	-	190
	⑧地域公共交通への公的資金投入額	百万円	57.6	50.3	48.1	-	-	45.6
利便性	⑨町内支線と路線バスの接続率	%		84.0	84.0	100.0	-	100.0
	⑩町内支線のGTFS-JP※中面参照 対応率	%	0.0	0.0	0.0	-	-	100.0

参考 地域公共交通の現状



参考 地域公共交通のはなし

以前は高齢者の方等専用でしたが、2017年よりご利用制限を撤廃しています。町内のおでかけにぜひご利用ください！  
 ♡バスは誰でも乗れるらしい。

往復利用なら「1日乗り放題券」500円。週3日以上利用なら「地域応援定期券」月4千円。定期券はご家族誰でも使えます。  
 ♡バス・タクシーはたくさん使うほどオトクらしい。

京阪バスグループ「ポイントサービス」登録でご利用額の5%分もポイントが付きます。ICOCAとあわせてぜひご利用ください！  
 路線バスは20回のおれば1回タダらしい。

各社が宇治駅等発着のプランを設定しています。「お茶の京都」をぜひ満喫ください！  
 一般タクシーは観光利用も充実らしい。

保険、税金、車検で1日800円以上。他にもガソリン代、駐車場、購入費用も。電車やバスより意外と高いんです。  
 クルマはお金がかかるらしい。

ご不明点はコチラまで！

宇治田原町地域公共交通計画 概要版



背景

京都京阪バス、うじたわLIKE(らいく)♡(はーと)バス・タクシー、一般タクシーは、利用者減少や乗務員不足などにより、持続性が課題となっていました。また、コロナ禍や新名神高速道路の開通など、宇治田原町を取り巻く環境の変化が見込まれています。

目的

まちの将来像の実現を、人の移動の観点から支えることを目的とします。このため、自家用車以外でも移動できる環境の持続的な維持・確保にむけた「地域公共交通のマスタープラン」として、本計画を策定します。

計画の基本理念 人をつなげる みんなで支える ♡(はーと)のまちの地域公共交通

第5次まちづくり総合計画に掲げるまちの将来像「人がつながる 未来につながる お茶のふるさと 宇治田原 ～やすらぎ・ぬくもり・ハートのまち～」実現に向け、地域公共交通を地域、交通事業者、行政がみなで守り育てることでサービスを維持・確保・改善し、移動しやすく人の往来が頻繁にあるまちを創りあげていきます。

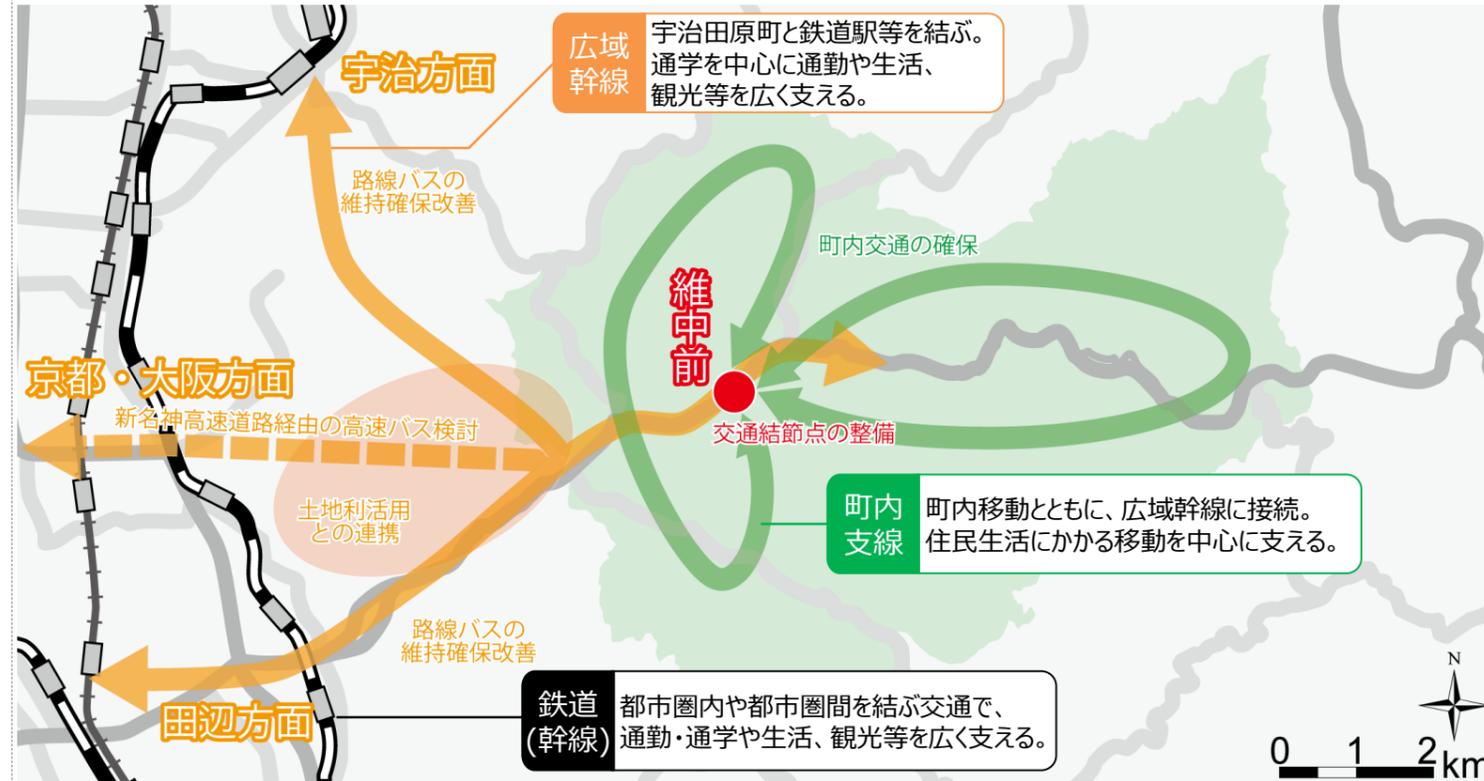
本町における地域公共交通の課題



基本方針



将来ネットワーク



面的交通

地域的、時間的に需要が少ない移動を支える。

観光交通

主として観光目的の移動を支える。



福祉交通

身体的条件等により、地域公共交通等での移動が難しい方の移動を支える。

基本方針 A

利便性の高い広域/町内の地域公共交通ネットワーク構築

新名神高速道路の供用を契機とした都市の変化を踏まえつつ、利便性の高いネットワークを構築します。

施策A-1 鉄道等との接続を考慮した広域的なネットワークの形成

路線バスの利便性向上

- ◆ダイヤ、停留所環境、車両の改善
- ◆情報提供

取組例 ◆停留所環境の改善

- ・乗継ぎや待合環境向上のため、維中前停留所建屋を高質化。



▲改装後の維中前停留所

近隣自治体との新たな路線検討

- 城陽市、和束町方面との路線

施策A-2 新名神高速道路供用にあわせ新たな広域幹線の形成

短・中距離高速バス路線の誘致

- 宇治田原町内外を結ぶ高速バス開発

取組イメージ

- ・町と京都市・大阪市等を連絡する路線開発を検討。
- ・城陽市のアウトレットモールを“新たな地域公共交通結節点”と捉え、町内と結ぶ路線を検討。



▲京阪バス「直Q京都」の例

施策A-3 まちづくりや広域幹線と連携した町内支線の形成

♡バス・タクシーの継続的な見直し

- ◆利用状況のモニタリング
- ◆路線、時刻表の見直し

停留所環境の改善

- ◆ダイヤ・路線の見やすさ向上
- ◆ベンチ、上屋等の設置・高品質化
- ◆維持管理体制構築

取組例 ◆高質化

- ・“♡”をあしらった標柱を設置。
- ・デザインは中学生へのアンケートで決定。



▲役場前の標柱

基本方針 B

持続可能な地域公共交通の維持確保

地域公共交通は、人口減少やコロナ禍等により経営環境が厳しくなりつつあることから、効率的な輸送体系を構築するとともに、適切な行政負担や利用促進等により維持確保します。

施策B-1 行政負担による地域公共交通の維持確保

♡バス・タクシーの運行

- ◆♡バス・♡タクシーの運行継続

国や府と連携した運行経費確保

- ◆町財政による運行経費確保
- ◆国庫補助の活用
- 府補助の活用



施策B-2 多様な輸送資源の効率的な組合せ

スクールバスと♡バスの一体運行

- ◆♡バスのスクール線で児童・生徒通学

多様な輸送資源の利活用推進

- ◆公共交通空白地有償運送と福祉有償運送の連携・役割分担
- 送迎車両等との連携



施策B-3

ターゲットを明確にした利用促進

ターゲットを明確にした利用促進の実施

- ◆子どもや保護者、観光客を対象とした利用促進
- 小中学生、高齢者等を対象とした利用促進
- ♡バス・♡タクシーに乗る付加価値の提供

取組イメージ ■♡バスに乗る付加価値の提供

- ・「運賃300円分の価値を創出」する視点で、付加価値を向上。



▲バス装飾を車内にも



▲京都京阪バス1日乗車券の特典



▲町のフォトコンテスト事例

取組例 ◆子供や保護者を対象とした利用促進

- ・未来の地域公共交通利用者を育くむとともに、自家用車以外でも移動できる生活をPR。



▲子どもの絵をバスに貼付け



▲手作り絵本『バスにのって』を読み聞かせ



▲バス車両でクリスマスプレゼント配達

基本方針 C

地域公共交通とまちづくり等との連携

子育て環境整備や、観光施策等と連携します。また、情報化、MaaS等をはじめとする技術や考え方の潮流を踏まえて利便性向上に取り組めます。

施策C-1 「お茶のふるさと」を活かす町内での観光移動手段の確保

観光移動を支えるバスの運行

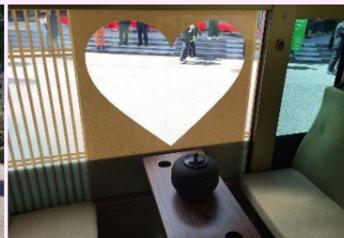
- ◆町内外、町内移動を支える運行

観光移動を支えるタクシーの運行

- ◆タクシーによる観光プランの設定
- ◆路線バスとタクシーとの接続

●観光客のニーズに合わせた二次交通の確保

- 路線バス等から目的地を結ぶ地域内交通のしくみづくり



宇治茶バス▼

取組例 ◆町内外を結ぶ運行

- ・京都京阪バスの「宇治茶バス」は、内装を工夫。
- ・宇治方面から茶屋村を結ぶ休日路線を運行。

施策C-2 地域公共交通による通学手段確保

高校通学費補助（路線バス運賃補助）の継続

- ◆高校生の路線バス通学支援

♡バスによる小学生等の通学手段確保【再掲】

- ◆♡バスによる小学校児童・生徒の輸送

施策C-3 MaaSの視点による利便性向上

GTFS-JP対応

- ◆路線バスの対応
- ♡バスの対応

「GTFS-JP」とは？

- ・国が定める“標準的なバス情報フォーマット”。
- ・この整備により、Googleマップ等で鉄道、路線バス、♡バス等を組み合わせた経路検索が可能に。



基本方針 D

地域公共交通を支える体制構築

「地域、交通事業者、行政」等が連携・役割分担するとともに、近隣自治体や京都府等と連携し、広域的な地域公共交通を検討・構築していきます。

施策D-1 地域公共交通にかかる協議・調整の場の確保

広域的・業種横断的な協議・調整の場の確保

- ◆地域公共交通活性化協議会の開催
- ◆広域連携にかかる協議会への参画
- 京都南部地域等自治体による公共交通の諸課題の協議、情報共有



施策D-2 地域公共交通の担い手確保

担い手募集や育成（乗務員、整備士等）

- ◆交通事業者による担い手募集や育成
- 中学校の職場体験学習での公共交通体験【再掲】
- 町広報紙等による担い手募集
- 複数市町との連携